

研究課題	2.4 二重偏波レーダーを用いた火山噴煙の解析的研究
研究期間	令和2年度～令和4年度（3年計画第2年度）
実施官署	鹿児島地方気象台
担当者	（鹿児島地方気象台）星原一航、久保武史、小枝智幸、中橋正樹
担当研究官	[火山研究部] ○佐藤英一
目的	本研究の目的は、地方（現業）官署における二重偏波気象レーダーを用いた噴煙解析技術の普及である。また、本研究を通じて、気象レーダーを用いた火山噴煙解析分野（コミュニティ）の裾野拡大・職員のスキルアップも目指す。
研究の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・気象研究所 X バンド MP レーダー (MRI-XMP) や 2 次元ビデオディストロメーター (2DVD)、国土交通省 XRAIN などの二重偏波レーダーで観測したデータを用いて、桜島などの噴火事例による事例解析を行い、噴煙／火山灰雲エコーと降水エコーの違いについて、とりまとめる。 ・二重偏波気象レーダーを用いた火山噴煙の解析環境を構築し、その手順をマニュアル化する。解析には、気象研究所で開発されたソフトウェアである Draft（田中・鈴木（2000））などを用いる。
令和3年度 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、解析のための講習を行う。メール等によるサポートは随時行う。 ・前年度に引き続き、噴火事例の解析を行い、火山噴煙の二重偏波パラメータの変化傾向を掴む。